

電子情報科学専攻	研究分野	データ科学	Lab. ID EC37
研究室Webサイト			
研究課題の概要			
<p>データを用いて社会現象や自然現象を理解する研究をしています。中心的なテーマは、新聞やブログなど時間付きの大規模テキストデータを用いた社会現象の精密な観測と数理的な構造の理解です。日本中で使われた「言葉」によって、関心や感情や価値や文化のような目に見えないことの変化をを観測しようという研究です。具体的には例えば現在では以下の研究を行っていたり、今後、行っていこうと考えています。</p> <p>(1) 時間付きテキストデータの物理学的な観点での研究 (経済社会物理・統計物理)</p> <p>(2) 歴史や文化や事件などに関する社会的記憶に関する精密な定量研究 (計算社会科学)</p> <p>(3) 男・女の働き方や家事に関する感情や行動のブログデータや歴史資料からの観測(データ・統計科学)</p> <p>(4) 大規模ブログデータを用いた「食」に関する流行の予兆発見・現状把握システムの開発(マーケティング)</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針, 具体的なカリキュラム, 研究室での活動等			
<p>研究テーマは学生の方の興味等に合わせて話し合いながら決めていきたいと思います。基本的には上記の時間付きテキスト解析に関連になることも多いと思います。一方、文学・芸術・歴史・言語・社会・エンタメ・マーケなどの自主的なテーマも歓迎いたします(ただし、自主テーマは失敗する可能性も高いかもしれませんが)。規模の非常に小さい研究室なので一人一人に合わせたデータ解析の研究に関する技術の丁寧な指導を心掛けたいと考えています。そのほか、研究ゼミの他に、データ解析関連の技術ゼミを行う予定です(テキストデータ解析, 自然言語処理, データ解析基礎, データ整理法等)。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>新しく小規模な研究室のため運営の方針は配属された学生の方と相談しながら決めて行こうと考えています(場所を選ばずできる研究なので、週一程度の技術や研究のゼミへの参加を義務とし、コアタイム等は無くすなど)。同時に、研究に関して、SlackやSkype等のオンラインチャットツールで随時、相談や議論できる体制を作っていこうとも考えています。また、研究の内容上自由な発想が必要なことと、加えて、教員自身の経験も少ないため、出来る限りフランクで楽なコミュニケーションをしていけたらと考えています(研究する人としては学生も教員も対等という考え)。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>人間社会データの研究が中心の研究室のため、歴史や文化や思想・経済・社会など人間・社会に興味がある方は歓迎です。手法としては、一人での研究やプログラミングや数理解析の作業が中心になり、かつ、結果もでにくいです。そのため、結果がすぐにでなくても、真面目にコツコツと努力を続けられる方、じっくりと丁寧に問題を解決したい方、困難にぶつかったときに自分なりに調べたり考えたりするの好きな方には向いているかもしれません(優秀さより忍耐力や粘り強さ)。逆に、素早く効率的に成果をだしたい方は向かないかもしれません。研究の内容上、数学や物理が好きで、物理・数学と社会現象の関係に興味がある方には楽しいかもしれません。加えて、マーケティングなどの元になる社会データ解析に興味がある方も、実データでの解析の現実を体験できると思います(良いところも悪いところも…)。</p> <p>基礎科学の研究室でもあるので、とてもとてもうまくいけば、研究によって、これまでの歴史上世界で誰も見たことも知ることもない社会現象の法則を見たり発見できるかもしれませんよ。</p>			
最近(過去3年間+必要に応じて)の修士論文題目			
修了年月	タイトル		
最近(過去3年間+必要に応じて)の博士論文題目			
修了年月	タイトル		
研究室連絡先メールアドレス	渡邊隼史 <h-wata *at* ec.t.kanazawa-u.ac.jp>		